

# 沿革

## 古河電工のアルミニウム事業のエポック

## スカイアルミニウムのエポック

1910年	アルミニウム電線の研究を開始	
1921年	ジュラルミンの研究試作を開始	
1933年	栃木県日光市にアルミニウム製板工場が完成	
1937年	栃木県日光市に軽合金鋳造、管棒工場が完成	
1939年	日本初の水冷鋳造(DC法)を開始	
1958年	米国アルコア社と技術と資本導入に関する契約を締結(1985年に解消)	
1961年	栃木県小山市に押出総合工場が完成	
1964年		昭和電工(S)、米国カイザーアルミナム社(K)、八幡製鐵(Y)(現新日本製鐵)の3グループの合併により会社設立(1973年カイザー社は資本撤退)
1967年		埼玉県深谷市に圧延工場が完成
1968年	滋賀県近江八幡市に押出専門工場が完成	世界最大のエチレンタンク用アルミ板の製造を開始
1970年		日本最初のアルミ製LNG地上タンク用厚板の製造を開始
1971年		日本最初のアルミ缶ボディ用材料の製造を開始
1972年	栃木県宇都宮市に日本で唯一のアルミ専用のカラー塗装工場が完成	
1981年		日本最初のLNG船アルミ・モス型球形タンク用厚板の製造を開始
1983年	福井県三国町に日本最大級の板圧延工場が完成	
1990年		4号冷間圧延機、広幅蓋材処理ライン、2号連続焼却炉運転開始
1993年		アルミセンター21を設立
1997年	全工場でISO9001認証を取得	
1998年	インドネシアに現地法人PT. Furukawa Indal Aluminum社を設立	
古河電工とスカイアルミニウムが、アルミニウム事業についての業務提携を開始		
2000年		ISO9001認証を取得
両社のアルミニウム事業の販売部門を統合し、ユニファースアルミニウムを設立		
2002年	全工場でISO14001認証を取得	ISO14001認証を取得
2003年	ベトナムに精密鋳物工場が完成	
<b>古河スカイのエポック</b>		
古河電工とスカイアルミニウムのアルミニウム事業を統合し、古河スカイを設立		
コイルセンター3工場を集約し、「ACE21」社を設立		
2004年	アジア最大級の15,000t熱間鍛造プレスが稼動	
2005年	ユニファースアルミニウムを統合	
中国に現地法人古河(天津)精密鋁業有限公司を設立		
東京証券取引所第一部に上場		
2006年	ベトナムに現地法人 Furukawa-Sky Aluminum (Vietnam) Inc.を設立	
2007年	ギリシアに合併で現地法人AFSEL S.A.を設立	
2008年	韓国のアルミニウム圧延会社との業務提携契約に調印	
2009年	英国のアルミニウム圧延会社に資本参加	
日本製箔(株)を完全子会社化		
2010年	中国のアルミニウム圧延会社に資本参加	
タイに現地法人Furukawa-Sky Aluminum (Thailand) Co., Ltdを設立		